

大分教育事務所訪問②-68 (計141)

大分市立戸次小学校に学ぶ

学校経営から学ぶ

学校の教育目標「夢に向かって 学び合い 心豊かに たくましく 生きる力をはぐくむ児童の育成」を達成するために、教職員が行う取組指標毎に、子どもの姿の数値目標（検証指標）を定め、それぞれの取組状況（教師）と達成状況（子ども）から、次の改善方を定めるといった検証・改善サイクルを構築しています。特に、あいさつにおいては、「あ」かるく、「い」ろいろな人に、「さ」きに、「つ」なく を合い言葉とした「あいさつカード（個人）」や「あいさつの木（学級）」等を全校で取り組み成果として表れています。

今後とも、本校が育成を目指す（教科横断的な）資質・能力である「自分の考えを持ち、相手に伝えようとする力」を常に意識され、取組の度に確認されると、行事などの目的がより明確になると思いました。それぞれの行事や実践が、何のために行うかという目的の共通理解が得られると、方法や手段は担当者や児童会、地域の方にも任せることができ、より当事者意識が高まることを期待されると思いました。

参考資料「小学校学習指導要領解説 総則編 pp47-53 2教科等横断的な視点に立った資質・能力 ア 言語能力

授業から学ぶ

参観させていただいた学級では、子ども達の声があふれ、学び合う姿が見られました。特に、6年生算数では「代表値」「最頻値」等数学の言葉で説明する子ども達の多さに驚きました。5年生算数では自主的に学び合い高め合う姿が印象的でした。1年生算数では子ども達が役割を分担して、一人も取り残すことなく全員で課題を解決する優しい姿がとても素晴らしかったです。2年生体育では、先生が短時間でも多くの子どもの成長をみつけてほめている姿を学びました。

今後は指導案を作成する際、「振り返り」を教師が願う具体的なゴールの姿を「子どもを主語」にして表記してみたいかがでしょうか。教師が考えた「振り返り」と子どもが実際に書いたものとの違いを分析をしたり、「めあて」との連動、評価規準との整合性について互見授業を通して協議したりすることで授業改善が推進されると思いました。



NO.623 2021年12月 大分市立戸次小学校

学び合う子

友達と協力しながら考える。いろいろなアイデアがでる。だから、みんな成長する。



NO.624 2021年12月 大分市立戸次小学校

支え合う子

友達に教える時は、相手の考えをしっかりと聞いて、確認しながら笑顔で行う。だから共に成長する。



NO.626 2021年12月 大分市立戸次小学校

安心の空間

自分の考えを持ち、相手に伝えることができるのは、聴いてくれる友達がいるから。



NO.625 2021年12月 大分市立戸次小学校

鍛え合う子

新しいことにチャレンジする。最初から上手くはいかないけど、繰り返すことで、次第にできるようになる。